

高齢者の企業面接・介護予防事業の活用【大分県竹田市】

(実施主体) 大分県竹田市	(基金事業メニュー) 対面型相談支援事業
(実施期間) 平成 23 年度～24 年度	(実績額) 平成 23 年度 1,194 千円

1、就職セミナー＆合同企業面接会における「かんたん！ストレスチェック＆こころの健康相談コーナー」の設置

〔事業の背景・必要性・目的〕

竹田市では、雇用の機会が不足しているために就職することが困難な状況にある。そこで現在、地場企業とその企業に必要な求職者とをマッチングさせるために合同企業面接会を実施している。面接会には失業者が職を求めて来場するが、失業などの「経済・生活問題」は自殺の動機・原因である。そこで、「ストレスチェック」を入口に気軽に立ち寄っていただき、メンタルヘルス支援の必要な人には個別支援を行うことを目的に相談コーナーを設置した。

〔事業の内容〕

面接会の会場の一角に相談ブースを設置し、健康相談とストレスチェックを実施。全体説明時にコーナーの周知と面接会受付からコーナーに誘導。

〔事業実施に当たっての運営体制等〕

合同企業面接会については、竹田市経済活性化促進協議会が事務局となり企画・運営し、健康相談コーナーについては、担当課保健師及び精神保健福祉士が対応。なお、精神保健福祉士については精神部門の障がい者相談支援事業所より派遣の協力を得て実施。

*保健師：血圧測定、ストレスチェッカーによる検査

*精神保健福祉士：問診によるストレスチェック及び個別カウンセリング

〔事業の成果、工夫をした点、その他特筆すべき点〕

参加者が「就労面接」を目的に来場されているので積極的にコーナーに立ち寄る状況ではなかった。しかし、個別に話を伺うと「眠れない」や「先々に不安がある」と訴える人もいた。

主催者からは、

- ・参加者の 1 割は障害、1 割はメンタルヘルスに問題を抱えている。そのため相談コーナーを設置する試みは意義深い。
- ・ハローワーク職員からは「求職相談の際、メンタルヘルスに問題を抱えている人に対して市役所に相談するようにアドバイスするが本人は行かないので、今回の事業のように連携して開催するのは非常に助かる」との意見。

2、介護予防事業「おしゃべりサロン・湯ったりふれあいサロン」におけるこころの健康相談会

【事業の背景・必要性・目的】

竹田市は人口 24,797 人・高齢化率 39.4%・独居高齢者数 9.3%(平成 23 年 12 月末現在・第 2 次竹田市地域福祉活動計画)である。自殺に関しては平成 18 年～22 年の標準化死亡比が 123.8 と県内ワースト 4 位で、老年期の男性の自殺が多いというのが特徴である。そこで高齢者が集う「おしゃべりサロン」において健康相談会を実施し、こころの健康づくりの大切さを普及啓発するとともに、スクリーニングを行い、ハイリスク者への個別支援を行う。

【事業の内容】

スクリーニングは個別にて保健師・精神保健福祉士、普及啓発は集団にて作業療法士が実施。

【事業実施に当たっての運営体制等】

企画・運営は担当課保健師が対応。なお、精神保健福祉士・作業療法士については精神部門の障がい者相談支援事業所並びに市内専門医療機関より派遣の協力を得て実施。

【工夫をした点、その他特筆すべき点】

- ・参加者がスクリーニングを不快に思わないように事前に説明。また個別面接は個人情報保持できるように会場など工夫。(間仕切りなど)
- ・支援の必要な人には後日家庭訪問を行い、必要な支援をコーディネートした。



湯ったりふれあいサロン

(問合せ先) 大分県竹田市役所健康増進課

TEL:0974-63-4810

E-mail: kenkou@city.taketa.lg.jp